

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 淀川区
学校名 西中島小学校
学校長名 田原口 昭貞

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動をご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 13名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科については「話すこと・聞くこと」の領域においては全国平均を16ポイント以上上回っていた。一方で「書くこと」の領域においては全国平均よりも15ポイント程度下回っていた。

算数科については、「データの活用」の領域においては5ポイント程度上回っていたが、「図形」の領域においては12ポイント程度下回っていた。国語科・算数科ともに無回答率が全国平均よりも1.5ポイント程度高かった。

児童質問紙においては、自己肯定感、将来の目標を持っている児童が多く、家庭学習の時間も全国平均よりも多い。一方で読書の時間が全国平均より少ない。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 問題ごとに見てみると、「書くこと」「話すこと・聞くこと」の領域の中でも決められた字数の中で書く問題については正答率は高くなっている。令和3年度まで国語科の校内研究で読み取ったことをもとに自分の考えを書く活動を進め、スクールアドバイザーからのアドバイスをもとに授業改善に取り組んできたことや、学力向上サポートを積極的に配置して、きめ細やかな指導を続けたことについて、成果が見られた。一方で情報をどのように整理したのかを問う問題や漢字の問題などに課題が見られた。

[算数] 図形の領域において、面積の大小について選び、そのわけを書く問題については正答率が高かったが、図形の名前や特徴を答える問題については課題が見られた。算数科では全体的に選択問題よりも、基礎的な問題ではあるが、自分で式と答えを書くような問題について課題が見られた。昨年度から取り組んでいる算数科の授業研究により、答えを書くだけでなくその理由を伝え合うなど問題解決学習に取り組んだ成果は表れている。

質問紙調査より

昨年度は「おうち時間パワーアップ」を実施し、今年度は家庭学習アンケートを実施し、家庭学習の時間が少しずつ増えてきている。また授業改善に取り組んだことで、国語科における書く活動や算数科における話し合い活動の時間も充実してきている。自己肯定感や将来の目標を持つことができている児童が多く、教職員やサポートが普段から子どもたちとコミュニケーションをとりながら教育活動を進めていくことができていることや家庭の協力があることがうかがえる。一方で読書の時間や読書量については、課題が見られるため、学校の取り組み等により読書の機会を確保し、読書への興味を引き出す必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

国語科においては、書く活動においてグラフや図表・文を読み取って、大切なことや必要なことをまとめていく過程で、どのように考えをまとめていくのかを確認して活動を進めていく。また漢字検定で目標を定めて検定に取り組み、基礎基本の定着につなげる。

算数科においては、昨年度から取り組んでいる基礎基本定着のための「ぐんぐんタイム」やスクールアドバイザーからのアドバイスを受けた授業改善を進めていき、問題解決学習に取り組みつつ基礎基本も身に付けることができるようしていく。

読書活動については、おすすめの本をプレゼンテーションを使って紹介する活動や読書ビンゴなどの活動に取り組み、読書に興味をもって取り組めるような活動を設定して推進していく。

